

---

# 発端

留々家 奈琴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

発端

### 【コード】

N4983F

### 【作者名】

留々家 奈琴

### 【あらすじ】

突然現れた銀色の物体そこから出てきたのは貧乏神だったその目的とは何なのか？

(前書き)

星新一のショートショートが好きなので自分でも書いてみたいと思  
っていました。  
初投稿です。

丘があつた。

休日には親子がピクニックをする。

そんな丘だ。

そんな休日にそれは起こつた。

銀色の物体が突然現れた。

野次馬が来た。

警官が来た。

科学者が来た。

「こんな合金は見たことはありません。」

科学者のアルファ氏は言った。

1時間ほどたつた。

物体が開いた。

野次馬は後ずさりし、

警官は銃を抜き、

科学者は目を見開いた。

何が現れるのか待った。

みすばらしい布をまとつた老人が現れた。

皆、驚いた。

きつと「3メートルの宇宙人」が出てきたとしても驚かなかつた。

アルファ氏は

日本語が通じるか迷いつつ

「あなたは何者なのですか？」

と問うた。

老人は

「貧乏神です」

と言つた。

皆、苦笑する余裕さえ

無かった。

アルファ氏「あれはなんですか？」

老人「タイムマシンです。」

アルファ氏「未来から来たのですか？」

老人「そうです。」

アルファ氏「あなたはパン派ですか？ご飯派ですか？」

老人「人間の不幸を糧としています。」

警官「何を聞いているんですか？」

アルファ氏「少し混乱してしまつて」

「いったい何のために来たのです？」

とアルファ氏が問うた。

老人は語り始めた。

「私たちのいた50年後では人間がコンピュータに管理され、幸福な人生も不幸な人生も無い、まるで機械のような生活をしています。我々は人間を不幸にすることで生きているのですから、もちろんそれは困るのです。」

我々は一応、神ですから多少は食べなくても生きていられるのですが、そのうち仲間が餓死するようになりました。」

そこで、タイムマシンを作り上げ、まだ不幸のあるこの時間にやってきたのです。」

残念ながら仲間の半分は救えなかったのですが。」

言い終えるか終えないかのうちに銀色の物体からみすばらしい布をまとった老人たちが舞い上がった。」

相当の数だ。」

よくもまあこんな小さな銀色の物体に乗っていたものだ。」

しばらくして空になった銀色の物体を人々は見つめた。」

曇天が不吉な音を立てている。」

運悪く夕立に降られながらアルファ氏は思った。」

あれだけの貧乏神が現れて人類はどれだけ不幸になるのだろう。」

一刻も早く「人間がコンピュータに管理され、幸福な人生も不幸な

人生も無い、まるで機械のような生活をする」ための研究を始めなければ。

ただ、アルファ氏はそれが人類にとって幸福な未来なのかは分からなかった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4983f/>

---

発端

2011年2月1日03時44分発行